随意契約結果及び契約の内容

業 務 概 本業務は中部地方整個局管内の港湾施設が、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾開催し、技術情報の提及で共有等の実務担当者に対する技術講習会を関係したの方式のの氏名・数 支出負担行為担当官 中部地方整備局副局長 中原 正顕 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NIP・フジサワ丸の内ビル 契約 担当官等の氏名をある地の方式の内である。 契約 年 月日令和7年9月30日 契約 業者の住所 日本の方式の内二丁目1番36号 NIP・フジサワ丸の内ビル 契約 業者の住所 東京都港区西新橋一丁目14番2号 契約 業者の住所 現底のとおり 対力、2 第9,691,000 予定価格(規込) ¥9,691,000 予定価格のは、規立とおり 第4 対力のとおり 第4 業務 場所 所属による ・第9,691,000 ・分離のとおり 第4 対力のとおり ・第4 対力のと対力のと対力のと対力のと対力のと対力のと対力のと対力のと対力のと対力の対力を対力のであると対力のであると対力のであると対力の対力のであると対力の対力のであると対力ので								
業 務 概 要能差解しるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾間域に関する効率化技術を検討するとともに、港湾間域に大変所属するとの所属する方面を関係し、技術情報の提供及び共有を図るものものである。 契約担当官等の氏 支出負担行為担当官中部地力整備局副局長 中原 正顧 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NIP・フジサワ丸の内ビル 契約 約 年 月 日 令和7年9月30日 契約 業 者 会和7年度港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体 契約 金 額 (稅込) ¥9,625,000 予定 価格(稅込) ¥9,691,000 予定 価格(稅込) ¥9,691,000 数ととした 理 由 別紙のとおり 第 素 務 所 本 基 で をととした を 要 の を 要 を の 要 の の 要 を の 要 の の 要 を の 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の	業	務		の	名	ı	称	令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務
びにその所属する部局	業		務		概		要	能を発揮し続けるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾 施設の維持管理に携わる国及び港湾管理者等の実務担当者に対する技術講習会を
契約 業者の 住所東京都港区西新橋一丁目14番2号 契約 金額(税込) ¥9,625,000 子定価格(税込) ¥9,691,000 産品をとした理期 別紙のとおり 業務 場所 一 業務 場所 所 (税別のとおり) 業額 区分建設コンサルタント等 履行期間(自)令和7年9月30日 履行期間(至)令和8年2月27日	び	にそ	の所	. 属	する	5 部	局	又山身担1 為担ヨ旨 中部地方釜伽向副向女 中界 正螟
製 約 業 者 の 住 所 東京都港区西新橋一丁目14番2号 製 約 金 額 (税 込) ¥9,625,000 子 定 価 格 (税 込) ¥9,691,000 随 意 製 約 に よ る 別紙のとおり 業 務 場 所 一 業 種 区 分 建設コンサルタント等 履 行 期 間 (自) 令和7年9月30日 履 行 期 間 (至) 令和8年2月27日	契	約		年	月			
製 約 金 額 (税 込) ¥9,625,000 予 定 価 格 (税 込) ¥9,691,000 Dia	契	約		業	者	ì	名	令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体
予 定 価 格 (税 込) ¥9,691,000 随 意 契 約 に よ る 別紙のとおり 業 務 場 所 - 業 種 区 分 建設コンサルタント等 履 行 期 間 (自) 令和7年9月30日 履 行 期 間 (至) 令和8年2月27日	契	約	業	者	の	住	所	東京都港区西新橋一丁目14番2号
随 意 契 約 に よ る 別紙のとおり 業 務 場 所 一 業 種 区 分 建設コンサルタント等 履 行 期 間 (自) 令和7年9月30日 履 行 期 間 (至) 令和8年2月27日	契	約 金	: 額	(税	込)	¥9, 625, 000
 業務場所 - 業種区分建設コンサルタント等 履行期間(自)令和7年9月30日 履行期間(至)令和8年2月27日 	予	定個	i 格	(税	込)	¥9, 691, 000
業 種 区 分 建設コンサルタント等 履行期間(自)令和7年9月30日 履行期間(至)令和8年2月27日	随こ	意と	契 :			よ理	る由	別紙のとおり
履 行 期 間 (自) 令和7年9月30日 履 行 期 間 (至) 令和8年2月27日	業		務		場		所	_
履行期間(至)令和8年2月27日	業	:	—— 種 ———		区		分	建設コンサルタント等
	履	行	期	間	(自)	令和7年9月30日
備	履	行	期	間	(至)	令和8年2月27日
	備						考	

随意契約理由書

1. 業務名 令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務

2. 選定理由

本業務は、中部地方整備局管内の港湾施設が、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾施設の維持管理に携わる国及び港湾管理者等の実務担当者に対する技術講習会を開催し、技術情報の提供及び共有を図るものである。

本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、「令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体」を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、「令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体」と随意契約するものである。

プロポーザル評価表

1.件名 令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務

2.所属事務所 港湾空港部

3.技術提案書の特定通知日 令和7年9月16日

業者名	配置予定技術者の 経験及び能力	技術評価点の内訳 実施方針・実施フロー・ エ程表・その他	特定テーマに対する 技術提案	技術評価点 合計	備考	摘要
評価のウェート	80	80	160	320		
令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ ニュージェック設計共同体	71.00	52.00	106.67	229.67		特定

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。